

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ① 担当エリアである和泉中央地区は、区役所や区社協、子育て支援拠点「すきっぷ」、泉公会堂、区民文化センターなど泉区を中心とする施設が揃っており、生活がしやすい場所です。地理面では殆どが平坦地であるため、徒歩での外出はしやすいですが、道が狭くバス路線が長後街道や環状 4 号線だけのため、高齢になると移動がしにくいという課題があります。
- ② 人口は泉区内でも中田地区に次いで 2 番目に多いです。泉区の高齢化率は 26 歳を超えていますが、和泉中央地区の平均年齢は区平均より若いですが、20 代後半から 40 代で転入してきた人の高齢化が目立ちます。
- ③ 地域の福祉活動が活発で、10 の各町内会単位で高齢者サロンがある他、体操教室も 13 団体あり、常設の地域住民の立ち寄り場所「いこいの家」や住民間の支えあいの仕組み、有償ボランティア「ふれあいヘルプ」も立ち上がっています。連合や地区社協・民児協の連携が強く、中心となる人材も豊富で地域のイベントも多いです。しかし、この地域活動を総合事業に移行することについては様々な課題があります。
- ④ 福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）では、地域に認知症の方が増えている課題に対し、「認知症サポーター養成講座」を積極的に行い、認知症への理解を深めています。29 年 9 月に「いこいの家」で立ち上がった認知症カフェ「にちようカフェ」を生活支援コーディネーターと共に全面的に支援していきます。
- ⑤ 地域防災に関しては今後も大きな課題と捉えています。特に発災時に「福祉避難所」としての役割を担うためには、区役所や地域の他の「福祉避難所」と連携強化を図り、災害時の体制を整える事が必要です。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ① 様々な方々に気軽に相談していただけるよう、機会があるごとに広報します。相談には真摯に向き合い、迅速、的確に対応します。
- ② 月1回の職員会議、6職種会議、サブコ会議、デイ会議、相談員会議、週1回のケアマネ会議（包括主マネ参加）等を定期的に行う他、各職種が常に課題意識を持ち情報共有に努めます。
- ③ 高齢に限らず、障がい・子育てについての相談窓口を充実させるほか、介護サービスの最新情報はもちろん、地域のインフォーマルサービス等の情報を収集し、支援を必要とする方に適切な情報提供を行います。
- ④ サービス事業者や医療機関、専門機関と連携し情報共有をします。
- ⑤ 福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）職員が不在時は、所長、ケアマネジャー等職員が相談を承り、各職種が連携を取りながら全体で情報提供及び支援にあたります。

(2) 各事業の連携

- ① 所長、地域活動交流コーディネーター、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の職員、生活支援コーディネーターは月に1回、6職種会議を開催し、地域の状況・課題の共有や支援方法の検討を行います。また通所介護、居宅介護支援の職員とも職員会議等を通じて情報を共有し、地域の実情やニーズにあったサービス提供を行います。
- ② 今年度も、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）・地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーターの共催事業として「パパ・ママのための介護セミナー」、地域活動交流コーディネーター・生活支援コーディネーターとの共催で「よこはまシニアボランティアポイント登録研修会」等の講座を実施します。広く地域に周知しケアプラザを知ってもらうことや福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）が高齢者以外の相談機関であることの周知に努めます。
- ③ 地域の高齢者サロン等には、所長および5職種が輪番制で出席し、地域の情報を収集し共有します。また地域住民に対して有益な情報を適宜提供していきます。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ① ケアプラザを利用されるお客様に満足いただけるサービスを更に向上させるには、福祉専門職としての能力向上と、専門的資格取得が重要と考えます。今年度も、福祉専門職としての能力を向上させるために、OJT体制を充実させていきます。新人教育はもちろん、採用年次による定期的な研修やフォローアップ研修で質を高め、介護福祉士や介護支援専門員、社会福祉士等の資格取得を正規職員・非常勤職員を問わず奨励・支援していきます。さらに接遇にも力を入れ、お客様への質の高いサービス提供を行います。
- ② 法人で独立した研修センターを設置しています。職種・年齢層・在勤年数・職制等様々な区分による研修が実施されており、研修には積極的に参加します。それにより人材育成とスキルアップに努めていきます。
- ③ 福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）が受けた相談に対し、居宅介護支援事業所を紹介する際、法人独自で作成している「居宅介護支援事業所新規依頼表」を使い、公正・中立性を確保します。
- ④ 予防支援や居宅介護支援でサービスを使う際は、ハートページや資料等を用いて、利用する人が自己決定できるように支援します。
- ⑤ 通所介護等はできる限り見学してから自己決定するよう促します。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ① 民生委員児童委員協議会、シニアクラブや町内会などの定例会に積極的に参加し、情報の共有、収集を行うとともに、各団体との連携強化に努めます。特に、各町内の会合には計画的に参加し、連携促進を図ります。
- ② 地域福祉保健計画を通じて、地区社会福祉協議会や連合町内会、民生委員児童委員協議会やシニアクラブ等の地域の関係団体との連携を密にし、地域課題の解決に向けて協働していきます。
- ③ 障害児・者への支援について、泉区障害福祉自立支援協議会や泉区基幹相談支援センター等と協働して取組み、連携の強化を図ります。
- ④ 和泉中央・北部子育て支援ネットワーク連絡会に参加し、主任児童委員やこんにちは赤ちゃん訪問員、保育園、子育て支援拠点「すきっぷ」等の関係団体と連携を深め子育て支援に取り組めます。
- ⑤ 地域課題としてもあがった、「ゆるやかな見守り体制」の構築に向けて、地域組織や民間企業、商店会、郵便局等の他、これまで連携とれていないところに積極的に声をかけて連携促進を図ります。
- ⑥ 常設サロン「いこいの家」の運営推進委員となり、連携して地域の課題解決に向けて協働してまいります。また昨年「いこいの家」で立ち上がった認知症カフェ「にちようカフェ」へのサポートも所長をはじめ、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）職員や生活支援コーディネーターが連携をとりながら係り、更なる充実を図ります。

(5) 区行政との協働

- ① 泉区の区政運営方針の基本目標「～身近な自治で大きなつながり～元気の出る泉区づくり」について、地域福祉の推進を担う地域ケアプラザとして、町内会や民生委員をはじめ地域活動グループと連携をとり、その実現に向けて行動していきます。
- ② 区福祉保健センターとの協議により、区の福祉保健等についての動向や地域の状況等の情報共有をします。
- ③ 第3期地域福祉保健計画地区別計画では地域支援チームの一員として参画し、連携を図りながら課題解決に向けた取組や、地区別計画推進委員会への事務局としての参加、地域に向けたPR活動を個別的行います。
- ④ 横浜型地域包括ケア計画策定に伴い、泉区での行動指針が策定されました。これに伴った事業の推進を区役所・区社協・他の地域ケアプラザと連携し、泉区における地域包括ケアシステムの構築に尽力します。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ① 今年度も、高齢者、障害児・者、子育て支援など、それぞれの地域ニーズや特性に応じた企画を行い、幅広い階層の参加が得られるような自主事業を展開します。尚、実施にあたってはケアプラザの貸室団体などの協力を積極的に呼びかけます。
- ② 地域ニーズを反映した企画を事業化します。昨年度より継続して多世代交流事業を継続実施し、ケアプラザが様々な世代の方々の交流の場となるよう努めます。また福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）、生活支援コーディネーターと共催でダブルケアについての講座を実施し、区内の幼稚園、保育園をはじめ小中学校に周知してまいります。
昨年からスタートした健康マージャン初心者クラス「まほろば会」は大変好評に付き、新メンバーを募集して継続します。

- ③ 事業の際、参加された方へそれぞれの事業の目的やケアプラザの役割等を明示・周知して、福祉保健の推進につながる事業展開をしていきます。
- ④ ボランティアや参加者とともに、企画・運営できる事業を充実させ、参加するボランティアの拡充を図ります。
- ⑤ ケアプラザの自主事業から発展した自主サークルが、スムーズに活動できるよう支援します。
- ⑥ 自主事業を通して捉えた地域の課題は、自治会・町内会、地区社会福祉協議会をはじめとする地域の諸機関や学校等の関係機関、および福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）と共有し解決に向けて協働します。
- ⑦ 地域高齢者サロンや地域体操教室がとても盛んな地域です。自主事業をはじめ、エリア内にあるサロンや体操教室等で、介護予防への意識付けや運動の指導等、活動の活性化を図るとともに、消費者被害等への啓発にも取り組みます。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

多くの皆様にご利用いただくために、広報紙や地域の会合等で案内する等、積極的な広報を行い、これまであまりケアプラザに関心のなかった方にも活用していただけるような情報提供を工夫して行います。

(1) 施設の利用率向上の対策

施設の積極的紹介

- ① 各自治会の総合防災訓練や夏祭り等、地域の行事に積極的に参加し、これまでケアプラザに関心のなかった方々にもケアプラザの役割・機能について広く周知を行います。
- ② 高齢者、障害児・者、子育て世代など様々な層を対象とした事業を展開することにより、ケアプラザの存在周知を図り、施設利用につながるよう働きかけます。
- ③ 和泉中央地区内にある小学校や幼稚園・保育園に出向きケアプラザの講座のチラシなどを配布し、ご参加いただくことで幼児・児童やその保護者にケアプラザを身近な場所として感じていただきます。
- ④ 中学校の職業講話や小学校の福祉体験などの依頼を積極的に受け、ケアプラザが高齢者に特化した施設ではないこと、障害児・者や子育てに関する事業も行っていることを周知します。

イベントの開催

- ① ケアプラザまつり「そよ風フェスタ」等、どなたでも気軽に参加できるイベントを積極的に行います。その際に小中学校や幼稚園・保育園などにチラシ配布を行い広く広報すると同時に、発表者やボランティアとして参加いただけるよう声掛けをしてまいります。
- ② 地域住民、区社会福祉協議会、障害者施設等との共催事業の実施により、地域の方々と、幅広くふれあう機会を提供します。

(2) 効率的な施設貸出の方法

- ① 当ケアプラザを拠点に活動するサークルやボランティア等のグループを育成・支援し、グループの自主活動に向け、スムーズに施設の貸出しができるよう取り組みます。
- ② 貸室利用申込みの希望が重なった際などは調整を行い、少しでも多くの方にご利用頂けるよう工夫します。
- ③ 利用率が低いと予想される土曜・日曜・祝日及び平日夜間の時間帯を活用できるよう、子どもから一般成人、健康な高齢者までを対象とした自主事業を計画するなど工夫します。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

(1) ボランティア育成についての考え方

多様化・複雑化する地域のニーズに対応するため、柔軟に、きめ細かく対応できるボランティアとの協働が必要です。

そこで、ボランティア間の協働やネットワーク化による活動内容の充実や活動しやすい環境を整備するなど、今後増加が見込まれる団塊世代の方々が活動しやすいような取組を行います。

(2) ボランティア育成の取組

当ケアプラザではデイサービスでのボランティア活動の他に、高齢者や、障害児・者、子育ての分野において積極的に活動していただけるよう情報提供等の支援を行います。

また、「よこはまシニアボランティアポイント事業」の受入施設として指定を受けることにより、多くの方がボランティアに参加しやすい環境づくりを行います。

育成体制

- ① 地域活動交流担当が、ボランティア活動に関しての相談、情報提供を一元的に行うことで、ケアプラザでの実務経験や福祉介護に関する幅広い知識やノウハウを持つ職員、あるいは先輩ボランティアと共に活動していただけるようコーディネートを行い初めての方でも安心してボランティアに参加できる環境づくりを行います。
- ② 個人またはグループで活動のできるボランティアの登録を受け付け、ケアプラザ内や地域での福祉保健に関する活動の場を提供し、「よこはまシニアボランティアポイント事業」につなげます。また、地域での活動の場については、区社会福祉協議会とも連携しながら、コーディネートを行います。
- ③ ボランティアがより安心して活動できるように専門知識・介護技術などの研修・講座を定期的開催し、スキルアップのための後方支援をしていきます
- ④ ボランティア同士、および職員とボランティアのネットワーク構築のため、年1回、日頃の活動への感謝を含めた「ボランティア感謝と交流の集い」を開催します。
- ⑤ 貸室登録団体のボランティア活動を支援するために、自主事業の中でのボランティア活動の場の提供を積極的に行っていきます。
- ⑥ 泉区学齢障がい児余暇支援事業「ジュニアフレンド」において、積極的に地域や学生のボランティアを募ることで、障害児・者への理解を深めてもらえるように努めます。
- ⑦ 多くの方にいろいろな立場でボランティア活動に参加していただけるよう、地域で様々な特技やノウハウを持っている方を、講師として活動につなげることができるよう働きかけていきます。

活動環境整備

- ① 「ボランティア感謝と交流の集い」を実施し、日頃の活動に関しての感謝と労いを伝え、情報交換を通じた他の活動の理解を深めることで、ボランティア相互のつながりを強め、活動の刺激となるよう交流を深めます。
- ② 貸室利用団体のボランティア活動を支援するために、様々な活動の場を提供していきます。連携を図りながらケアプラザの自主事業の手伝いなど、活動の奨励を行います。
- ③ 「よこはまシニアボランティアポイント事業」へ参画し、ボランティアのモチベーションがあがるよう情報提供や働きかけを行い、活動開始のきっかけ作りを支援します。

- ④ 日頃のボランティア活動に対して、泉区社会福祉顕彰候補者や横浜市社会福祉協議会会長顕彰への候補者として区社会福祉協議会へ推薦し、受賞者のボランティア活動へのモチベーションがあがるように働きかけます。また、ケアプラザ広報紙へ受賞者の記事を掲載し活動に対して感謝の気持ちを伝えます。
- ⑤ 気持ちよくボランティア活動が継続できるよう、ボランティア受け入れ時のマナーに関する留意点をケアプラザのスタッフに適宜話します。

広報活動

- ① 地域の行事等を利用してのアンケート調査や広報紙等での広報活動、中・高生の実習を積極的に受け入れ、児童の頃からボランティア活動に親しむよう働きかけます。
- ② 当ケアプラザのボランティア活動を、区社会福祉協議会、ケアマネジャー連絡会、自治会・町内会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会などをはじめ地域の方々に広く周知します。
- ③ 地域の中学校で行う職業講話等にてボランティアの必要性や期待感等を伝え、活動につながるよう取組みます。
- ④ 当ケアプラザ館内に、ボランティアメンバー募集等のチラシを掲示するスペースを設け、来館される方へ広く周知を行うと共に、ケアプラザ事業や貸室登録団体の活動紹介を求めて来館された方へも、ボランティア活動への参加を働きかけます。
- ⑤ 広報誌やホームページ等でボランティア募集情報を発信していきます。

研修等の実施

- ① 適正なボランティア活動を行っていただくため、「ボランティア感謝と交流のつどい」の中で今後の活動に有益となるスキルアップ講座を開催します。
- ② 当ケアプラザでは「よこはましニアボランティアポイント」の受け入れ施設となっており、登録研修会も実施します。登録研修会では高齢分野の説明だけでなく障害児・者や子育て分野等の説明も行います。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ① 法人で作成した地域アセスメントシートを用い、地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターや福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）が協働しながら地域情報を共有・更新します。また必要に応じて、地域福祉保健計画等でも情報を提供・共有します。
- ② 法人内の各職種の担当者会議や研修会などに積極的に参加し、福祉保健に関するさまざまな情報や地域の社会資源などについて、常に最新の情報を収集するよう努めます。
- ③ 地域においては、各関係機関の会合や各団体の催し、サロンに参加するなど地域の方の声を積極的に聞き、情報収集に努め、また必要な情報を提供します。
- ④ 子育て支援ネットワークへ積極的に参画し最新の情報を収集するように努めます。
- ⑤ 和泉中央地区にある常設サロン「いこいの家」において、参加者や運営スタッフからの情報収集に努めます。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ① シニア男性の介護予防・認知症予防を目的とした「男性のためのアクティブ Life 講座」の運営企画を行う男性グループ「ducks」メンバーとともに引き続き男性の地域デビューを促進し、地域の新たな男性の担い手発掘活動を行います。
- ② 昨年度若い世代をターゲットとした健康講座「Change The Life」を実施。そこから介護予防を目的としたサークル「LaVita」が発足しました。今年度も講座を実施し、サークルに繋げ地域包括ケアシステムや健康になることが一番の介護予防となることを伝え、若いうちからの介護予防活動の促進いたします。包括支援センター（特に保健師）と連携し、介護予防事業や地域内における介護予防啓発に努めていきます。またダブルケアに向けた具体的取り組みとして「パパ・ママのための介護セミナー」を共催で実施いたします。
- ③ 担当エリア（包括エリア）における社会福祉法人の地域貢献活動の取り組みと地域が求めているニーズとのマッチングに向けた情報収集や、実際の活動に向けた取組を行います。
- ④ 区域での大きな課題でもある、地域活動の担い手育成に向けて先駆的に取り組んでこられた、和泉中央地区社会福祉協議会と共催で講演会を実施します。現在行なわれている地域活動を継続していくためのヒントや発展していくために必要なことを学ぶ機会をつくります。
- ⑤ 「泉サポートプロジェクト」と連携し、移送支援の担い手育成及び発掘や事業展開に協力いたします。その為に、昨年度に引き続き移送に関する地域のニーズ調査を行います。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ① 所長及び福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）職員・地域活動交流コーディネーターと連携し、地域のサロンや体操教室、行事に積極的に参加しニーズ・資源の把握・分析に努めます。
- ② 男性グループ「ducks」のメンバーからも男性のニーズ把握に務め、それにあった講座や働きかけをしてまいります。
- ③ 現在、和泉中央地区社協主催の「にちようカフェ」に参加しており、実際の認知症当事者の方や、家族を介護中の方、連合、地区社協、民生委員と多くのスタッフ・参加者がいることから広くニーズ把握に努めます。
- ④ アセスメントより得た地域ニーズと資源とのマッチングや、エリア内における居宅介護支援事業所などに情報提供を実施いたします。

(3) 連携・協議の場

連携及び協議の場として、現在実施している、「ducks」の定例会や「にちようカフェ」での振返り等を活用し、ニーズ把握や情報提供に務めます。また連携及び協議の場として必要に応じて協議体の実施を検討いたします。既存の連絡会や会議に積極的に参加し、関係諸機関との更なる顔の見える関係作りを行います。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ① 現在地域課題としてあがっている、認知症理解に関する取組として、認知症サポーター養成講座の開催を福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）職員および地域交流コーディネーターとともに積極的に地域内に働きかけていきます。
- ② サポーター養成講座を受講するだけでなく、受講後の具体的な取組みとしてお住まいの地域内でのゆるやかな見守りを行うことを促進します。
- ③ 地域内の男性の孤立化・孤独化の防止、新たな仲間作りや社会参加の場つくことを目的とした取組み「男性のためのアクティブLife講座」を主催する「ducks」の活動を事務局としてサポートしてまいります。昨年度同様、泉区内の地域ケアプラザにも働き掛け、泉区全体でグループを支援いたします。
- ④ エリア内の社会福祉法人の地域貢献活動と地域のニーズとのマッチングに努めていきます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

- ① 地域の会合・サロン・シニアクラブ・地域行事等へ出向き、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の周知を行い、地域との関係づくりや連携を図ります。
- ② 区役所や地域の関係者（民生委員など）、ケアマネジャーとネットワーク構築を図り、地域での話し合いを開催するなど、密接な連携と情報共有により、地域のニーズを把握するように努めます。
- ③ 地域の金融機関、コンビニ、スーパー等各種店舗などに福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の案内を配布し、地域包括支援センターの周知にさらに努めます。
- ④ 地域で見守りが必要な方を早期に把握し、見守りできるように地域の金融機関コンビニ、スーパー等各種店舗などに福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の機能と役割の周知をさらにすすめ、相談支援等につながるようなネットワーク作りを取組みます。

②実態把握

- ① 地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと協力しながら法人の地域アセスメントシートを更新し、引き続き地域の実態把握に努めます。
- ② 地域活動交流、生活支援コーディネーターと協力し、各町内会館やコミュニティハウスで行われている地域活動の把握に努めます。
- ③ 地域からの相談状況を地図に表記し、地域の実態の「見える化シート」を更新します。
- ④ 高齢者サロン・シニアクラブ・地域行事等に参加して、地域の実態把握に努めます。
- ⑤ 地域の金融機関、コンビニ、スーパー等各種店舗に福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）の周知を行い、情報収集や実態把握に努めます。
- ⑥ 事業開催時にアンケート調査を行い、地域の実態把握に努めます。

③総合相談支援

- ① 地域からの相談に関しては、当事者のみならず家族や地域の状況も踏まえ、対応していきます。
- ② 電話相談、窓口相談、訪問等により高齢者介護を始めとする地域住民の幅広い相談に応じ、地域資源や介護予防事業等の情報を提供します。また各種サービス機関・団体との連絡・調整により課題解決を図ります。
- ③ 支援や見守りが必要な高齢者に対して、訪問等、継続的な見守りと状況に合わせた支援を行います。また、支援のために常設サロン「いこいの家」や関係機関との連携を図ります。
- ④ 相談内容の分析を行い、地域の課題解決に努めます。
- ⑤ ダブルケア支援のため、「パパ・ママのための介護セミナー」を生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと共催にて行います。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ① 「成年後見制度」の講座を行い、普及啓発を行います。
- ② 泉区版エンディングノート「わたしの人生計画帳」の普及啓発のため、エンディングノートに関する講座を行います。
- ③ 成年後見制度や法律に関する相談会を開催し、相談の掘り起こしに取り組みます。
- ④ 地域の高齢者サロン等で、振り込め詐欺や消費者被害の防止をテーマにわかりやすく注意喚起を行います。
- ⑤ 区社会福祉協議会あんしんセンターと協力して、地域サロン等であんしんセンター等権利擁護について普及啓発を行います。
- ⑥ 消費者被害や詐欺等に遭われた方に対しては、関係機関や専門家につなぎ対応策を講じるなど早期対応・早期解決に努めます。

① 高齢者虐待への対応

- ① 横浜市高齢者虐待防止マニュアルに基づき、実態を把握し、区高齢・障害支援課と支援の方向性を共有します。また関係機関とチームでの支援体制を構築し専門的・継続的な視点から支援していきます。
- ② 早期発見できるよう、ケアマネジャーやサービス事業所、民生委員等関係機関と連携を図ります。
- ③ 虐待の疑われるケースについては、実態把握や情報収集を行うなど迅速な対応を図ります。また、定期的に訪問等を行うなど継続的な支援を行います。
- ④ 介護者の精神的負担軽減のため「介護者のつどい」を2ヶ月に1回開催し介護者支援を行います。
- ⑤ 区高齢・障害支援課と泉区内6包括と協力して作成したリーフレット「気づき」を地域で配布し、虐待予防の普及啓発を行います。

② 認知症

- ① 昨年度に引き続き、エリア内の地域住民・小中学校・民間企業に対し、継続してサポーター養成講座を実施していきます。
- ② まだ実施していない町内会・店舗、などでサポーター講座を実施し認知症の理解と、ゆるやかな見守りの輪が広がるよう、働きかけをおこなっていきます。
- ③ キャラバン・メイトが主体的に活動できるよう、連絡会や講座打ち合わせをおこないます。
- ④ いこいの家の「にちようカフェ」に参加し、ケアプラザとして継続してサポートしていきます。
- ⑤ 福祉の専門職であるケアマネジャー等に対し、認知症について学ぶ機会を継続して確保していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ① 地域のサロン・シニアクラブ・イベント等に参加し、福祉総合相談窓口(地域包括支援センター)の PR・介護保険制度の説明・介護予防啓発活動を行い、地域との関係づくり・連携を図ります。
- ② 介護保険制度やケアマネジャーの役割について、地域住民や関係機関に周知することで、ケアマネジャーのケアマネジメント支援につなげます。
- ③ ケアマネジャーと民生委員・サービス事業所との連絡会や勉強会を開催し、顔の見える関係が築け、連携が図りやすくなるための支援をしていきます。
- ④ エリア内のグループホーム・小規模多機能居宅介護・定期巡回随時対応型訪問介護看護・地域密着型通所介護の推進会議に出席し、情報交換を行い地域のサービス事業者との連携を図ります。

② 医療・介護の連携推進支援

- ① 今年度もエリア内の医療機関(病院・医院・薬局・歯科)に定期的な訪問を継続し、関係性を深め地域の医療と介護のネットワーク構築につなげていきます。また、得た情報を6職種で共有します。
- ② 医療機関と協働し、地域住民向けに講演会の開催・ケアマネジャー向けに勉強会の開催をしていきます。
- ③ 区内6包括でエリア内の「医療機関・調剤薬局情報ガイド」を更新します。ケアマネジャーと医療機関に配布することで、連携のツールの一つとなるようにします。

③ ケアマネジャー支援

- ① 区高齢・障害支援課や区内6包括や区内他包括で、月1回ケアマネ連絡会を開催し、ケアマネジャーのスキルアップとケアマネジャー同士の連携への支援を行います。
- ② ケアマネジャーからの相談を随時受ける体制を確保し、相談に対しては専門的見地から助言・情報提供・同行訪問を行います。
- ③ 法人内の主任ケアマネジャーで作成したアンケート「ケアマネジャーの皆様へお願い」を、エリア内の居宅介護支援事業所に実施し、ケアマネジャーのひとり一人の把握と個別支援につなげていきます。今年度は生活支援コーディネーターと協力して、居宅介護支援事業所を訪問し、ケアマネジャーから情報収集を行うと共に、地域のインフォーマル等の情報提供を行っていきます。
- ④ 区内6包括で新任ケアマネジャー向けに、3日間の研修を計画・実施します。
- ⑤ 居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーが、各事業所で中心的役割を担えるよう、連携をとり一緒にスキルアップの機会を持ちます。また、主任ケアマネジャーの更新時に資格要件が満たせるような企画をします。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ① 個別レベル・包括レベルでの地域ケア会議を、定期的を実施していきます。
- ② 効果的な地域ケア会議を進めていくため、6職種や区高齢・障害支援課と協働して、会議前には議題の検討を、会議後には振り返りを行います。
- ③ 様々な職種・立場の方にケア会議に参加していただき、地域包括ケアシステムの理解を広げていきます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ① 事業対象者・要支援のお客様一人ひとりについてのアセスメントを行い、お客様の個別性に対応した生活機能維持・向上と自立支援の視点を持った介護予防プランを作成します。
- ② 介護予防の効果を最大限に発揮する為に、地域のインフォーマルマップを活用し情報提供を行います。お客様のQOLの向上、自立支援に資するよう、介護予防プランの中に位置づけ、インフォーマルサービスの活用につながるよう支援を行います。
- ③ 地域のケアマネジャーに対して、区高齢・障害支援課、区内他包括と連携をとり、介護予防従事者研修を企画・運営します。ケアマネジャーの介護予防ケアマネジメントのスキルアップにつながるよう支援します。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ① 地域の要請に応じて、地域自治会館での出張出前講座を行います。
- ② 地域の要請に応じて、泉区高齢・障害支援課と連携をとり地域自治会館で出張測定会を行います。また必要な方には測定結果に対するアドバイスを個別に行います。
- ③ 介護予防普及啓発事業については、泉区高齢障害支援課やエリア内の他施設と連携をとり企画運営・PRを行います。日程を変えて2回行う、春・夏・秋・冬の介護予防講座として通年で数多くの講座を開催する等のより参加しやすい工夫に取り組みます。それにより今までケアプラザを利用したことのない高齢者や、介護予防事業参加を躊躇していた高齢者に参加いただくなど、より多くの住民が参加出来ることを目標とします。
- ④ 地域介護予防活動支援事業としては、泉区高齢・障害支援課や他エリア包括と連携し、介護予防活動に興味関心のある地域サロンボランティアにむけて、交流や情報交換、介護予防スキルアップを目的とした講座を実施します。また、常設サロン「いこいの家」を拠点とした、ノルディックウォーキング自主グループの活動継続支援を行います。今年度も、ノルディックウォーキングリーダーによる長距離スペシャルウォーキングを企画・運営します。ノルディックウォーキングリーダーとしてのスキルアップと活動支援を行います。
- ⑤ 男性高齢者向けの介護予防事業として、筋力の維持・向上を目的としたかがやき健康体操教室の活性化に取り組めます。また、筋力・体力・バランス・柔軟性の低下傾向にある男性高齢者に向けた、椅子に座ったまま行う座式太極拳教室を開催します。

その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ① ケアプラザは高齢者、障がい児・者、乳幼児等、様々な方が利用されます。地域の皆様が快適・安全に利用できるように、施設・設備の管理・保守・清潔の確保をすることに最善の注意を払っていきます。
- ② 具体的には、設備総合巡視、空調設備、消防設備、機械警備・自家用電気工作物等の定期的な保守点検、定期清掃や日常清掃、衛生管理、緑化管理、不具合の対応等を専門の委託業者と契約し適切に対応していきます。
- ③ 建物の老朽化に伴う汚れや修繕箇所も増えており、従前から積極的に修繕や清掃等に努めてきましたが、今年度も区と協議しながら引き続き適切に対応していきます。
- ④ 施設内外の環境保持については、日々の草取りボランティアの他、年2回ケアプラザの事業としてケアプラザご利用のお客様から募ったボランティアによる一斉清掃を行い、環境整備に努めます。

イ 効率的な運営への取組について

- ① 効率的な運営を目指し無駄な経費削減に向け各担当が連携して取り組みます。
- ② 法人本部とともに、建物管理・保守、清掃等の委託業者の選定を行います。
- ③ 法人のスケールメリットを活用し、法人内の他の事業所と合同して車両リースの一括入札を行い経費削減を図ります。
- ④ 不必要な照明はこまめに消し、光熱費の削減を行います。ソーラーシステムが導入されましたので適切に管理していきます。
- ⑤ 職員には業務の効率化を指導し、超過勤務は極力減らします。

ウ 苦情受付体制について

- ① 法人本部で定めている苦情解決規則に従い、ケアプラザの苦情受付担当者・苦情解決責任者を定め、館内に掲示するとともに、いただいたご意見に対しては責任を持って、お客様の立場に立って丁寧に対応させていただきます。
- ② 法人本部では第三者委員制度を設置し、お客様の声がより公平にお伺いできる体制を整えています。
- ③ 館内に「ご意見箱」を設置しいつでもどなたからでもご意見がいただけるようにしています。
- ④ 苦情解決後は、職員・スタッフ間で会議を通して共有するとともに振り返りを行うことで、その後の業務のあり方や職員・スタッフのスキルアップにつながる体制を作りさらに意識を高めたいと思います。
- ⑤ 毎月、各事業所の苦情を本部で集計し、所長会で原因を考察し、事業所に持ち帰った情報を職員に周知徹底することで再発を防ぎます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ① 緊急時(事故・犯罪等)に備えて対応マニュアル・連絡網について見直し、研修を行います。
- ② 今年度も防災対策に注力し、いずみ中央地域ケアプラザのマニュアル、BCP(事業継続計画)に沿った年2回以上の防災訓練を通して、緊急時にケアプラザ職員がマニュアルに則った対応がとれるよう、入浴時等いくつかの場面を想定して災害時の備えを行います。今年度も危険場所の確認等をケアプラザ内防災委員会で行います。
- ③ 区との協定により、「福祉避難所」として災害時に地域防災拠点では避難生活を送ることが困難な高齢者などの避難場所としての役割を担っていきます。昨年度は、区役所と協働で具体的な開設準備等、対応の仕方を訓練することができました。今年度も職員誰もが対応できるように訓練を行います。
- ④ 防犯対策としては、警備会社と委託契約し緊急対応が取れる体制を整えています。ボランティア等来所者には名札を渡し、不審者が入館できないようにします。

オ 事故防止への取組について

- ① 設備の法定点検や、チェック表・マニュアルによる日常点検を行うとともに、AED操作や救命救急の研修を行います。
- ② 昨年度、「ヒヤリ・ハット」の研修と様式の見直しを行いました。今年度も日常の業務において報告の徹底とその後の共有化にて、事故を未然に防ぐ努力と原因および改善点の検討を行います。
- ③ 事故が起きた場合は、直ちに法人本部・区に一報を入れ、被害者が出た場合は真摯に対応し、再発防止に向けてその日のうちに原因を究明・分析、対応策を検討・実施後、報告書を作成して、再度、法人本部・区に報告します。またミーティングや全体会議で報告し、職員全員に周知・徹底します。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ① 今年度も、法人本部で定めた個人情報保護規程に従い、個人情報の取り扱いには細心の注意を払って業務を行います。
- ② USBは使用しません。
- ③ ファックスや郵送に関しては、マスキングの徹底やチェックシートを使って必ず二人で行います。
- ④ 紛失を防ぐために、ファックスでの受信や受付で預かった個人情報書類は必ず「個人情報受付簿」に記入し、最後まで確認します。
- ⑤ 個人情報を含む書類等の保管は鍵のかかる場所とします。
- ⑥ やむを得ず個人情報を所外に持ち出す時は、出張命令簿に明記し上司の承認を得ます。
- ⑦ 個人情報保護の研修を全職員対象に行います。
- ⑧ 日々の業務の流れについて各部署が常に課題意識を持ち随時検証していきます。

キ 情報公開への取組について

- ① 横浜市が制定する「情報公開条例」の趣旨に則り、当法人は情報公開規程を定めています。公開する情報としては、法人の概要、サービス内容、財務状況、事業計画、事業報告等です。
- ② また情報開示に関する申し出があった場合は、個人情報保護に最大限配慮しつつ、積極的に情報開示に努めます。

ク 人権啓発への取組について

- ① 法人では「横浜市福祉サービス協会倫理綱領」を制定し、援助者として持つべき視点や人権意識を採用時研修や年1回の全職員対象の研修等で適宜確認しています。
- ② いずみ中央地域ケアプラザでも毎年4月には、全職員対象に「協会の倫理」や「横浜市福祉サービス協会倫理綱領」を基に人権についての研修を行い、人権意識の確認を行います。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- ① 省エネルギー対策、ごみの減量化に努め、節電・節水をこまめに行います。
- ② ゴミのルート回収を行い、徹底したゴミ分別と削減に努めます。
- ③ 夏はクールビズを、冬はウォームビズでの執務を心掛けます。
- ④ 多くのボランティアの協力を得て施設周りの雑草の除去とともに四季折々の草花を育て、心の安らぎの提供を図ります。
- ⑤ 施設敷地内にある菜園に撒く肥料は、無臭のものを使い近隣に迷惑がかからないようにします。
- ⑥ 住宅密集地なので、近所の迷惑にならないよう音漏れに配慮します。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者	(常勤兼務)	1名
保健師職	(常勤)	1名
社会福祉士	(常勤)	2名
主任ケアマネジャー	(常勤)	1名

計5名

《目標》

- ① 地域の高齢者が、その人らしい自立した生活を送れるよう介護予防給付、介護予防・日常生活支援総合事業を、適正に実施します。
- ② サービス提供事業所や予防プラン委託先の居宅介護支援事業所と連絡調整を適宜行い、お客様の状況を把握及び共有してサービスの向上に努めます。
- ③ 地域アセスメントを行い、地域の実情に合致した介護予防普及啓発事業を企画・実施します。
- ④ 地域の介護予防グループ、体操教室、地域高齢者サロンの活性化に向けて、担い手同士の情報交換、スキルアップ講座等の育成支援を行ないます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

※介護予防支援については原則として実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① エリア内の医療機関と連携し、幅広い住民層を対象とした介護予防講座を企画・実施します。
- ② 包括支援センター、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターとの連携でダブルケアへの支援をテーマとした講座「パパ・ママのための介護セミナー」を3回開催します。

《利用者目標》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
140	140	142	142	142	144
10月	11月	12月	1月	2月	3月
144	144	142	142	142	142

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（主任介護支援専門員）	常勤兼務	1名
介護支援専門員	常勤専従	2名
介護支援専門員	非常勤専従	2名
計		5名

《目標》

- ① 法令を遵守し、公正中立な立場から支援します。
- ② お客様個別の生活課題を把握し専門的な見地からケアプランの作成を行います。
- ③ お客様の声に耳を傾け、向上性のあるケアプランを作成します。
- ④ きめ細やかにお客様のお宅を訪問し、状況変化等の把握に努めます。
- ⑤ 専門職としてスキルアップと研鑽に心がけ、ケアマネジャーとしての質の向上に努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

居宅介護支援について実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 特定事業所Ⅲとして24時間連絡できる体制をとります。
- ② 毎週1回、ケアマネ会議を開催し、困難ケース等の対応についての検討や情報交換、研修等を行います。その際、地域包括支援センターの主任介護支援専門員にも出席を願い、密な連携が図れるよう努めます。

《利用者目標》

【単位 人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
110	110	110	110	110	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
110	110	110	110	110	110

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 機能訓練をお客様毎の身体状況に応じて提供します。
- 入浴、排泄、食事等の介助、支援、見守り等のサービスを行います。
- 口腔機能向上支援サービスを提供します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| ● | 1割負担分 | 2割負担分 | 3割負担分 |
| (要介護1) | 662 円 | 1,323 円 | 1,985 円 |
| (要介護2) | 782 円 | 1,563 円 | 2,345 円 |
| (要介護3) | 905 円 | 1,810 円 | 2,715 円 |
| (要介護4) | 1,030 円 | 2,059 円 | 3,088 円 |
| (要介護5) | 1,154 円 | 2,307 円 | 3,461 円 |
- 食費負担 700 円
 - 行事食 お客様希望で行事食を提供した場合食費との差額分
 - 通常外レクリエーション等 実費
 - 処遇改善加算 1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金を加算

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》

生活相談員 3名 看護師 6名 厨房スタッフ 6名
 介護スタッフ 27名 ドライバー 5名 (全てシフトによる)
 月 3日間 歯科衛生士の勤務 (委託)

《目標》

お一人おひとりのお客様について自立支援の立場から、心身の状況、ニーズの把握をし、可能な限り居宅で自立した日常生活を継続できるように支援します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

専門性を取り入れた口腔ケアを行います（歯科衛生士による）
 サークルやクラブ活動（カラオケ、絵画サークル、コーラス、習字、麻雀手芸、囲碁等）をご自分で選択して参加して頂きます。
 マシンを取り入れた機能訓練にご希望で参加して頂きます。
 「回想法」を積極的に取り入れていきます。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
750	780	730	730	740	736
10月	11月	12月	1月	2月	3月
712	678	710	620	650	750

● 認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

- 機能訓練をお客様毎の身体状況に応じて提供します。
- 入浴、排泄、食事等の介助、支援、見守り等のサービスを行います。
- 口腔機能向上支援サービスを提供します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| | 1割負担分 | 2割負担分 | 3割負担分 |
| (要介護1) | 1,072 円 | 2,144 円 | 3,216 円 |
| (要介護2) | 1,188 円 | 2,376 円 | 3,564 円 |
| (要介護3) | 1,305 円 | 2,609 円 | 3,915 円 |
| (要介護4) | 1,422 円 | 2,844 円 | 4,266 円 |
| (要介護5) | 1,539 円 | 3,077 円 | 4,617 円 |
- 食費負担 700 円
 - 行事食 お客様希望で行事食を提供した場合食費との差額分
 - 通常外レクレーション等 実費
 - 処遇改善加算 1か月のご利用単位数の1000分の104に相当する単位数の料金を加算

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》生活相談員3名 看護師6名 厨房スタッフ6名
 介護スタッフ26名 ドライバー5名（全てシフトによる）
 月3日間 歯科衛生士の勤務（委託）

《目標》

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

認知症の特性を理解し小規模体制による細やかな個別対応で安心して
 お過ごしいただけます。
 専門性を取り入れた口腔ケアを行います（歯科衛生士による）
 回想法の専門の研修を受けたスタッフが多数おり回想法に力を入れています。
 生活リハビリや様々なアクティビティを取り入れ生活の質の向上を図って
 います。

《利用者目標（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
168	189	182	182	189	175
10月	11月	12月	1月	2月	3月
189	182	175	168	168	182

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・

《提供するサービス内容》

- 機能訓練をお客様毎の身体状況に応じて提供します。
- 入浴、排泄、食事等の介助、支援、見守り等のサービスを行います。
- 口腔機能向上支援サービスを提供します。

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- | ● | 1割負担分 | 2割負担分 | 3割負担分 |
|--------------|-----------------------------------|--------|---------|
| （要支援1） | 1,766円 | 3,531円 | 5,297円 |
| （要支援2） | 3,621円 | 7,241円 | 10,861円 |
| ●食費負担 | 700円 | | |
| ●行事食 | お客様希望で行事食を提供した場合食費との差額分 | | |
| ●通常外レクレーション等 | 実費 | | |
| ●処遇改善加算 | 1か月のご利用単位数の1000分の59に相当する単位数の料金を加算 | | |

《事業実施日数》 週 6 日

《提供時間》 9:45～ 15:30

《職員体制》

生活相談員3名 看護師6名 厨房スタッフ6名
 介護スタッフ27名 ドライバー5名（全てシフトによる）
 月3日間 歯科衛生士の勤務（委託）

《目標》 お一人おひとりのお客様について自立支援の立場から、心身の状況ニーズの把握をし、可能な限り居宅で自立した日常生活を継続できるよう支援します。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

専門性を取り入れた口腔ケアを行います（歯科衛生士による）
 サークルやクラブ（絵画サークル、コーラス、習字、麻雀、手芸等）をご自分で選択して参加して頂きます。
 マシンを取り入れた機能訓練にご希望で参加して頂きます。
 「回想法」を積極的に取り入れていきます。

《利用者目標(契約者数)》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
170	190	190	200	200	190
10月	11月	12月	1月	2月	3月
200	210	215	190	190	215

平成30年度「横浜市いずみ中央地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)＜地域活動＞

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,645,282		15,645,282	15,645,282	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	0	0	
雑入	0		0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料収入			0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,990,000		3,990,000	3,990,000	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	2,520,413		2,520,413	2,520,413	0	
収入合計	22,155,695	0	22,155,695	22,155,695	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,985,427	0	11,985,427	0	11,985,427	
本俸	8,481,646		8,481,646	0	8,481,646	
社会保険料	1,237,650		1,237,650	0	1,237,650	
手当計	2,112,845		2,112,845	0	2,112,845	
健康診断費	72,817		72,817	0	72,817	
勤労者福祉共済掛金	9,027		9,027	0	9,027	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	58,269		58,269	0	58,269	
その他	13,173		13,173	0	13,173	
事務費	1,085,000	0	1,085,000	0	1,085,000	
旅費	16,132		16,132	0	16,132	
消耗品費	182,679		182,679	0	182,679	
会議諸費	0		0	0	0	
印刷製本費	235,228		235,228	0	235,228	
通信費	205,529		205,529	0	205,529	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	2,739		2,739	0	2,739	
施設賠償責任保険	16,770		16,770	0	16,770	
職員等研修費	16,596		16,596	0	16,596	
振込手数料	33,401		33,401	0	33,401	
リース料	124,844		124,844	0	124,844	
手数料	76,278		76,278	0	76,278	
地域協力費	11,548		11,548	0	11,548	
その他	163,256		163,256	0	163,256	
事業費	1,972,000	0	1,972,000	0	1,972,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	予算:指定額
指定管理料充当 事業	1,930,000		1,930,000	0	1,930,000	
管理費	6,160,014	0	6,160,014	0	6,160,014	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	3,765,333	0	3,765,333	0	3,765,333	
電気料金	783,798		783,798	0	783,798	
ガス料金	1,136,366		1,136,366	0	1,136,366	
水道料金	1,845,169		1,845,169	0	1,845,169	
清掃費	959,895		959,895	0	959,895	
修繕費	474,000		474,000	0	474,000	予算:指定額
機械整備費	154,576		154,576	0	154,576	
設備保全費	797,976	0	797,976	0	797,976	
空調衛生設備保守	309,689		309,689	0	309,689	
消防設備保守	16,102		16,102	0	16,102	
電気設備保守	7,383		7,383	0	7,383	
害虫駆除清掃保守	168,531		168,531	0	168,531	
駐車場設備保全費	135,254		135,254	0	135,254	
その他保全費	161,016		161,016	0	161,016	
共益費			0	0	0	
その他	8,234		8,234	0	8,234	
公租公課	958,834	0	958,834	0	958,834	
事業所税			0	0	0	
消費税	958,834		958,834	0	958,834	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
支出合計	22,161,274	0	22,161,274	0	22,161,274	
差引	5,579	0	5,579	22,155,695	22,161,274	

自主事業費収入	50,000		50,000	0	50,000	
自主事業費支出	1,980,000		1,980,000	0	1,980,000	
自主事業収支	1,930,000	0	1,930,000	0	1,930,000	自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	19,200		19,200	19,200	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法
管理許可・目的外使用許可支出	19,200		19,200	19,200	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「いずみ中央地域ケアプラザ」

収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	29,169,000		29,169,000		29,169,000	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
指定管理料充当事業(包括)	0		0		0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0		0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0		0	
自主事業収入			0		0	
雑入	0	0	0		0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0		0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,786,093		1,786,093	1,786,093	0	
収入合計	36,895,093	0	36,895,093	1,786,093	35,109,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	32,956,293	0	32,956,293	0	32,956,293	
本俸	18,175,828		18,175,828		18,175,828	
社会保険料	4,321,102		4,321,102		4,321,102	
手当計	9,557,872		9,557,872		9,557,872	
健康診断費	49,406		49,406		49,406	
勤労者福祉共済掛金	40,832		40,832		40,832	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	771,256		771,256		771,256	
その他	39,998		39,998		39,998	
事務費	340,000	0	340,000	0	340,000	
旅費	9,549		9,549		9,549	
消耗品費	55,533		55,533		55,533	
会議ठी費	0		0		0	
印刷製本費	45,921		45,921		45,921	
通信費	74,598		74,598		74,598	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0				0	
その他	0			0	0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	964		964		964	
施設賠償責任保険	3,997		3,997		3,997	
職員等研修費	7,338		7,338		7,338	
振込手数料	11,792		11,792		11,792	
リース料	23,472		23,472		23,472	
手数料	36,744		36,744		36,744	
地域協力費	3,843		3,843		3,843	
その他	66,250		66,250		66,250	
事業費	1,965,000	0	1,965,000	0	1,965,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	875,000		875,000		875,000	
指定管理料充当事業(介護予防)	151,000		151,000		151,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000		309,000	予算:指定額
管理費	1,646,807	0	1,646,807	0	1,646,807	
建築物・建築設備点検	0		0		0	予算:指定額
光熱水費	1,000,911	0	1,000,911	0	1,000,911	
電気料金	208,351		208,351	0	208,351	
ガス料金	302,072		302,072	0	302,072	
水道料金	490,488		490,488	0	490,488	
清掃費	252,218		252,218		252,218	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算:指定額
機械整備費	40,615		40,615		40,615	
設備保全費	227,063	0	227,063	0	227,063	
空調衛生設備保守	81,371		81,371		81,371	
消防設備保守	4,230		4,230		4,230	
電気設備保守	19,334		19,334		19,334	
害虫駆除清掃保守	44,282		44,282		44,282	
駐車場設備保全費	35,538		35,538		35,538	
その他保全費	42,308		42,308		42,308	
共益費			0		0	
その他			0		0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税			0		0	
その他()			0		0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ス対応費			0		0	
支出合計	36,908,100	0	36,908,100	0	36,908,100	
差引	13,007	0	13,007	1,786,093	1,799,100	

自主事業費収入	0					
自主事業費支出	0					
自主事業収支	0			0		→自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: いずみ中央地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位: 千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護			認知通所		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	0		0	21,081		21,081	76,723		76,723	9,209		9,209	27,850		27,850
	その他	9,089	0	9,089	229	0	229	6,337	0	6,337	1,345	0	1,345	5,500	0	5,500
	介護予防ケアマネジメント費	8,593		8,593			0			0			0			0
	事業・負担金収入	496		496			0			0			0			0
	利用者負担額			0	229		229	6,030		6,030	1,280		1,280	5,500		5,500
				0			0			0			0			0
				0			0			0			0			0
	その他			0			0	307		307	65		65			0
収入合計(A)		9,089	0	9,089	21,310		21,310	83,060		83,060	10,554		10,554	33,350	0	33,350
支出	人件費	824		824	17,963		17,963	53,071		53,071	11,262		11,262	21,487		21,487
	事務費	87		87	1,866		1,866	5,858		5,858	1,243		1,243	2,535		2,535
	事業費	45		45	239		239	11,591		11,591	2,460		2,460	3,275		3,275
	管理費	0		0			0	1,535		1,535	326		326	555		555
	その他	5,342	0	5,342	0	0	0	347	0	347	74	0	74	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0	58		58	12		12			0
	消費税			0			0	0		0	0		0			0
	介護予防プラン委託料	5,342		5,342			0	0		0	0		0			0
				0			0	0		0	0		0			0
	その他			0			0	289		289	61		61			0
支出合計(B)		6,298	0	6,298	20,068	0	20,068	72,401	0	72,401	15,364	0	15,364	27,853	0	27,853
収支 (A) - (B)		2,791	0	2,791	1,242	0	1,242	10,659	0	10,659	-4,810	0	-4,810	5,497	0	5,497

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	介護をしている方	6,000	地活					
	10名		包括					6,000
	無料		生活					
パパ・ママのための介護セミナー	地域の方	15,000	地活					
	30名		包括					15,000
	無料		生活					
権利擁護事業	地域の方	5,000	地活					
	30名		包括					5,000
	無料		生活					
はまちゃん体操クラブ	概ね60歳以上	0	地活					
	20名		包括		69000			69000
	100円		生活					
スクエアステップ講座	概ね60歳以上	13632	地活					
	30名		包括		120000			13632
	200円		生活					
ゆる体操教室	概ね60歳以上	0	地活					
	20名		包括		136800			13632
	300円		生活					
サロンドレミ	概ね60歳以上	24000	地活					
	20名		包括		72000			96000
	300円		生活					
かがやき健康体操教室	概ね60歳以上	78180	地活					
	15名		包括		100000			178180
	500円		生活					
座式太極拳男性教室	概ね60歳以上	5000	地活					
	10名		包括		10000			15000
	200円		生活					
ノルディックウォーキングクラブ	概ね60歳以上	0	地活					
	20名		包括		0			0
	0円		生活					
いずみ中央・いずみ野ケアマネ連絡会	エリア内ケアマネジャー	20000	地活					
	40名		包括					20000
	0円		生活					
			地活					
			包括					
			生活					

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
子育て仲間 ぼんぼこPART2	未就園児	45000	地活	30000	15000			10000	35000
	70名		包括						
	100円		生活						
おはなし会	未就園児	22000	地活	22000					22000
	20名		包括						
	無料		生活						
飛行船いずみ	障害児・者	87000	地活	30000	57000			10000	77000
	10名		包括						
	200円		生活						
茶ろんいずみ	高齢者	60000	地活	22000	38000				60000
	50名		包括						
	無料(イベント時300円~500円)		生活						
ラジオ体操	地域	7000	地活	7000				7000	
	20名		包括						
	無料		生活						
うたごえサロン	高齢者	20000	地活	20000					20000
	80名		包括						
	無料		生活						
多世代交流サロン みんなの広場	4歳児~高齢者	60000	地活	42000	18000			50000	10000
	20名		包括						
	(無料~300円)		生活						
ういずみーの会 (重症心身障がい児と家族の交流会)	障害児・者、家族	2000	地活	2000				2000	
	10名		包括						
	無料		生活						
パパと遊ぼう	未就学児と保護者	1000	地活	1000					1000
	定員なし		包括						
	無料		生活						
ケアプラザ クリーンアップ	地域	30000	地活	30000					30000
	定員なし		包括						
	無料		生活						
ケアプラ文庫	地域	0	地活	0					
	定員なし		包括						
	無料		生活						
貸室団体交流会	地域	0	地活	0					
	45名		包括						
	無料		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象者 ②募集人数 ③一人当たり参加費	自主事業予算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
夏休みラジオ体操	児童	20000	地活	20000					20000
	定員なし		包括						
	無料		生活						
ジュニアフレンド夏事業	障害児	0	地活	0	0				0
	10名		包括						
			生活						
そよ風フェスタ	地域	125000	地活	125000			20000	95000	10000
	定員なし		包括						
	無料		生活						
ボランティア感謝と交流の集い	ボランティア	50000	地活	50000					50000
	45名		包括						
	無料		生活						
ピーターパンの会	障害児・家族	0	地活	0					
	20名		包括						
	無料		生活						
いずみ中央ジュニアカレッジ	小学生	16120	地活	2620	13500			10000	6120
	20名		包括						
	無料～500円		生活						
環境絵日記展	地域	1000	地活	1000					1000
	定員なし		包括						
	無料		生活						
シニアボランティアポイント登録研修会	地域	0	地活	0					
	10名		包括						
	無料		生活						
まほろば会	地域	0	地活	0					
	10名		包括						
	無料		生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支計画書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業予算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
男性のためのアクティブLife講座	50歳以上の男性	76,000	地活						
	15名～30名		包括						
	無料～500円		生活		24,000		11,138	16,800	65,200
ChangeThe Life	20歳～65歳以上の男	32,500	地活						
	20名		包括						
	500円		生活		22,500		33,411	3,589	18,000
地域(まち)の担い手(なかま)が集うコツ		30,000	地活						
	30名		包括				11,137	14,300	4,563
	無料		生活						
パパとママのための介護セミナー	地域の方	15,000	地活						
	30名		包括						
	無料		生活						15,000
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						
			地活						
			包括						
			生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業計画書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>(目的) 在宅で介護されている方、介護が終わった方、介護に興味のある方などが参加し、介護の悩みや情報交換をする場を提供する。</p> <p>(内容) 介護されている方が、それぞれの介護の状況について話す。必要時、介護に関する情報提供をする。</p>	偶数月第4木曜日 年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパとママのための介護セミナー	<p>(目的) 子育てと介護の両方を行うことになるダブルケア世代を支援する。</p> <p>(内容) 介護保険に関する情報提供をする。地域の介護保険施設の施設見学会を行う。</p>	年3回 土曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
権利擁護講座	<p>(目的) 権利擁護に関する講座を地域の方向けに行い、権利擁護に関する普及啓発を行う。</p> <p>(内容) 地域の会館等を利用し、エンディングノート、遺言・相続、成年後見制度等などの講座を行い、地域の方に権利擁護に関する情報提供を行う。</p>	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はまちゃん体操クラブ	<p>(目的) ・地域の一般高齢者を対象とし閉じこもり予防、仲間作り、体操リーダーにボランティア講師として担い手となることを目的とする。</p> <p>(内容) ・はまちゃん体操を中心として、ストレッチ・脳トレを取り入れて開催、椅子に座ったまま出来る内容で行う。</p>	毎月2回（第2火曜日・第4木曜日）

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
継続ゆる体操教室	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の一般高齢者を対象とし、ゆる体操を継続的に続けたいと希望している方の為の教室である。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ゆる体操の基礎的な動きから応用的な動きまで幅広いメニューで行う。血流・リンパ液の流れが維持改善されることを目的とし、実施する。 	毎月2回（第2・4金曜日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
-----	-------	---------

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サロンドレミ	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽療法により、認知症予防・閉じこもり予防・口腔機能維持改善・心肺機能維持改善を目的として開催する。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅でも出来る脳活性化メニュー、回想法、足腰を使ったメニューも取り入れ様々な視点から脳の活性化に取り組む実施する。 	毎月1回（第3日曜日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かがやき健康体操男性教室	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 男性一般高齢者を対象として、短時間で口腔機能維持改善・心肺機能維持改善を目的として開催する。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅でも出来る脳活性化メニュー、口腔体操、足腰を使ったメニューも取り入れ様々な視点から脳の活性化に取り組む実施する。体操開始前の握力・血圧測定も同時に実施する。 	毎月2回（第2・4土曜日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップ講座	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般高齢者を対象として、スクエアステップマットを使用してラインを踏まないように運動することで、敏捷性・バランス性を保持し、転倒予防へと繋がることを目的として開催する。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ステップを覚え実際に脳と身体を同時に使う事が脳の活性化へと繋がり、認知機能の低下を防ぐ。 	毎月2回（第1月曜日・第3火曜日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
座式太極拳男性教室	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般男性高齢者を対象とする。筋力・体力などが低下傾向にある方でも参加出来、閉じこもり予防を目的とする。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 座ったままで行う太極拳とストレッチ・呼吸法を取り入れて開催する。筋力や体力が低下している男性高齢者にあわせた内容で実施する。 	毎月2回（第1・3金曜日）

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いこいの家ノルディックウォーキングクラブ	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般高齢者を対象として、ノルディックウォーキングに定期的に取り組む。コース決めや、リーダーは地域住民ボランティアが中心となつて行なえるようになることを目的とする。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春・秋・冬の季節毎にスペシャルロングウォーキングをボランティア主体で企画し開催する。 	毎月1回(第2木曜日)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いずみ中央・いずみ野ケアマネ連絡会	<p>(目的)</p> <p>エリア内のケアマネジャーが、多職種連携や地域の社会資源とのつながりが持てること、また、ケアマネジメントの質の向上が図られるようにする。</p> <p>(内容)</p> <p>月に1回、区内他包括や区内6包括・区高齢・障害支援課と協力して内容を企画する。 グループワークなどによる勉強会・交流の機会と場をつくる。</p>	毎月1回(第3火曜日)

平成30年度 自主事業計画書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て仲間 ぽんぽこPART2	<p>(目的) 遊びを生活の一部として取り入れ、子どもたちの成長の糧とする。また、子育て中の保護者同士の交流や情報交換の場を提供する。</p> <p>(内容) 幼児とその保護者を対象に、保育ボランティアが手作りおもちゃ、手遊び、イベントなどで盛り上げる。</p>	全10回 毎月第2木曜 (8月・3月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなし会	<p>(目的) 親子が一緒に楽しめる場を提供し、絵本を通じて素直な心、夢を描く心、人の話を聴く心を育てる。</p> <p>(内容) わらべ歌を一緒に唄ったり、手遊びや絵本の読み聞かせを通して親子のスキンシップを自然に行う。</p>	全11回 毎月第3木曜 (8月を除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
飛行船いずみ	<p>(目的) 学齢障害児へ放課後の余暇支援を行う。また、地域ボランティアとの交流の場を提供する。</p> <p>(内容) 個別支援学級に通う小・中学生と特別支援学校に通う高校生とボランティアとで、音楽、運動といった活動や、季節に合わせたプログラムを楽しむ。 (5月：遠足 7月：BBQ 12月：クリスマス会 3月卒業パーティー)</p>	全24回 毎月第2・4火曜 (遠足、BBQを除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
茶ろんいずみ	<p>(目的) 外出支援と介護予防を目的としたミニデイサービスで、高齢者の閉じこもりを予防。</p> <p>(内容) 音楽に合わせた体操で始まり、その後は書道、手芸、カラオケ、麻雀のグループに分かれて趣味活動を行う。季節に合わせたプログラムも適宜実施する。 (6月：交流の集い 12月：クリスマス会 1月：新年会)</p>	全33回 毎月第1・3・4水曜 (8月、12月、1月は月2回)

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ラジオ体操	<p>(目的) 地域の方が毎朝決まった時間に集まり、ラジオ体操を一緒に行うことにより生活リズムを維持し、健康の保持・増進につなげる。</p> <p>(内容) デイサービスの送迎車出発後に、ケアプラザロータリー広場にてラジオ体操第1・2を開催。</p>	全359回 年末年始（12/29～1/3）を除き毎日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うたごえサロン	<p>(目的) 歌を通じて地域住民同士の交流の促進を図る。</p> <p>(内容) ボランティアの生演奏で参加者が一緒に合唱を楽しむ。</p>	全10回 毎月第1日曜 (6月、12月は除く)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
多世代交流サロン みんなの広場	<p>(目的) 小さいお子さんから高齢者の方まで、プログラムを通じて交流し、新たな縁を育む。</p> <p>(内容) 主に昼食をつくり（カレーなど）それを参加者全員で食べる。</p>	全5回 (5、7、9、10、1月の第4土曜に実施)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ういずみーの会 (重症心身障がい 児と家族の交流会)	<p>(目的) 外出の機会が少なく、孤立しがちな本人・ご家族に交流の場を提供し、また保護者同士情報交換の場となるよう努める。</p> <p>(内容) 子どもと一緒に集まった保護者同士が情報交換、交流を行う。地域活動ホームかがやきとの共催事業。</p>	全3回

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
パパと遊ぼう	<p>(目的) パパの子育て参加を促す。子育て中の保護者同士(特に父親同士)の交流や情報交換の場を提供する。</p> <p>(内容) 子育て支援ネットワーク関連機関で幼児とその保護者を対象に公園あそびを実施する。</p>	全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラザ クリーンアップ	<p>(目的) 福祉保健活動の場を提供するとともに、普段貸室を利用する団体同士の交流促進を促す。</p> <p>(内容) ケアプラザ内の部屋(多目的ホール、調理室、地域ケアルーム、ボランティアルーム)と外回りの清掃を行う。</p>	全2回 (6月・11月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアプラ文庫	<p>(目的) 図書館まで行くのは遠くて大変、という方たちのために気軽に利用できる貸し出し図書。</p> <p>(内容) 戸塚図書館からの貸し出し本やリサイクル本で、幼児から高齢者までが利用できる本を揃えるようにし、貸し出しを行う。</p>	全359回 年末年始(12/29～1/3)を除き毎日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
貸室団体交流会	<p>(目的) 貸室を利用されている皆様に交流、情報交換の場を提供し、団体の活動の幅を広げられるよう支援する。また、ケアプラザの機能について等周知する。</p> <p>(内容) 団体の自己紹介、ケアプラザの機能について、特定避難場所について、そよ風フェスタについての周知、その他ケアプラザへのご意見を伺う。</p>	全1回(9月)

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
夏休みラジオ体操	<p>(目的) 子どもたちに長期休みの生活を規則正しく送ってもらうことを目指し、同時にケアプラザの存在、所在を知ってもらう。また大人に対しても子や孫との参加を呼びかけ、多世代交流の場となるよう努める。</p> <p>(内容) 幼稚園や学校の夏休み期間、参加カードと参加賞を用意し、ラジオ体操第1・2を行う。</p>	42回 7月末～8月末

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジュニアフレンド夏事業	<p>(目的) 障害児に新たに出会いの場、生活経験を拡大できる場、充実したひと時を過ごせる活動の場を提供すると共に家族のレスパイトを図る。障害に理解のある地域や学生のボランティア育成を図る。</p> <p>(内容) ジュニアフレンド実行委員会との共催事業。泉区在住、在学の障害児を募集し、余暇プログラムを実施する。</p>	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そよ風フェスタ	<p>(目的) いずみ中央地域ケアプラザが地域の福祉拠点であり、すべての世代の方に来ていただける場所であることを周知すると共に、地域で福祉に関わる団体の活動を地域の方に知っていただく。</p> <p>(内容) 貸室団体や地域の団体による展示・発表、町内会・作業所などによる出店。</p>	全1回 (12/2)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝と交流の集い	<p>(目的) ケアプラザで活躍中のボランティアに対し、日頃の活動に感謝の意を示すと同時に新たなボランティア活動の紹介など今後の交流につなげる。</p> <p>(内容) 第1部は今後のボランティア活動において有益となるスキルアップ講座、第2部は交流会として自身の活動紹介や貸室団体による演奏等を行う。</p>	全1回(2月)

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
親子でお茶会	<p>(目的) 重心児とその保護者のための活動の場を提供し、また活動の場の拡大を図る。</p> <p>(内容) 音楽鑑賞、おやつ作り、ヨーヨー釣り、遊具遊びなどを実施。 (後方支援として開催をサポート)</p>	全1回 (8月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いずみ中央 ジュニアカレッジ	<p>(目的) 小学生を対象に、夏休みの自由研究等において有益な講座を行い夏休みを有意義に過ごしてもらい、その保護者に対してケアプラザが、青少年の健全な育成の場としての機能を持っていることを周知する。また、貸室団体の方等を講師に迎えることで多世代交流の場の提供を目指す。</p> <p>(内容) 工作教室や生け花教室、体操等の講座を行う。</p>	全6回 (7月～8月)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
環境絵日記展	<p>(目的) 小学生とその保護者などに地域ケアプラザを知ってもらうきっかけとする。また、環境問題に関心を持ってもらうきっかけとする。市や関連団体、企業等との連携した事業を行うことで、地域の活性化を図る。</p> <p>(内容) 環境絵日記展に出展された絵のデータを印刷し、館内に掲示する。</p>	全1回 (3月中に2週間程度)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアボランティア ポイント登録研修会	<p>(目的) 地域の方のボランティア活動参加を促す。</p> <p>(内容) シニアボランティア登録研修会をケアプラザにて開催する。</p>	全1回 (10月)

平成30年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
まほろば会	(目的) ケアプラザ自主事業「茶ろんいずみ」で大人気のプログラムである麻雀に参加したいがルールがわからないという方が多く、そういった方への支援として麻雀教室を開催する。 (内容) 麻雀初心者の方の為の麻雀教室を開催する。	全12回 (毎月第2水曜)

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度 自主事業計画書

横浜市いずみ中央地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
男性のためのアクティブLife講座	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア男性たち自らが男性の孤立化・孤独化という地域課題に向けて有効と思われる取組みを自ら考え実践していく。 ・シニア男性の新たな交流をつくることで、地域へ関心を持つことや自身の健康増進に取り組むこと。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニア男性自らが講座内容を考える。 <p>4月工場見学、5月フレイル予防セミナー 6月福祉施設見学会 9月～12月 ウォーキング、認知症サポーター養成講座など 1月～3月 料理、ウォーキングなど</p>	年8～10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Change The Life	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に向けて実施するロコモティブシンドローム予防講座。 ・日ごろから運動を習慣づけ、自身の健康増進に務めること。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康、食事に関する講話 ・筋トレやエクササイズに関する実践 	5月～6月 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域（まち）の担い手（なかま）が集うコツ	<p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和泉中央地区社会福祉協議会と共催 ・和泉中央地区が培ってきたノウハウをを共有することで、地域活動の継続及び発展を目指す。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 ・グループディスカッション 	全1回 (6/30)

事業名	目的・内容	実施時期・回数